

モーツァルト室内管弦楽団 第190回定期演奏会

〈創立50周年記念シリーズ〉第1回
〈フランス音楽特集〉

フォーレ◆組曲《マスクとベルガマスク》より 序曲

サン=サーンス◆ピアノ協奏曲 第2番 ト短調 作品22

イベール◆フルート協奏曲

ビゼー◆交響曲 ハ長調



《ピアノ》
山田 富士子



《フルート》
山本 ありさ



※開演10分前より指揮者によるプレトーク有

2019.

指揮◆門 良一

10/5 (土) いずみホール

JR環状線「大阪城公園」駅から3分、「京橋」駅から7分、
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅から5分。
有料駐車場完備

2:00pm開演(1:30pm開場) 入場料：一般 ¥5,000(指定席) / 学生 ¥500(24歳以下 当日限定数発売) *小学生よりご入場いただけます。

主催◆NPO法人モーツァルト室内管弦楽団 <http://www.moz-kam.org>

協賛◆いずみホール[一般財団法人住友生命福祉文化財団]

マネジメント◆大阪アーティスト協会 TEL06-6135-0503/FAX06-6135-0504 e-mail:artists@gol.com

〒530-0041大阪市北区天神橋3-3-3南森町イシカワビル507 URL:<http://www.oaa1985.com/>

前売

大阪アーティスト協会 050-5510-9645(電話受付:平日10~18時) いずみホール 06-6944-1188 フェットピア 0570-02-9999(Pコード:149-232)

ローソンチケット 0570-084-005(Lコード:54019)

*大阪アーティスト協会は世界の子どもの未来を支える大阪ユニセフ協会に賛同し、コンサート会場で募金活動等を行いながら、音楽を通して少しでも社会に貢献できるような取り組みを続けています。皆様のあたたかいご支援ご協力をお願い申し上げます。



モーツァルトとフランス音楽

モーツァルト室内管弦楽団は〈フランス音楽特集〉というシリーズの演奏会をときどきやっている。その理由はフランスの作曲家がモーツァルトの精神をかなり忠実に受け継いでいるという考えによっている。サン=サーンスのピアノ協奏曲はモーツァルトのスタイルに基づいていると言えるし、フォーレはそのようなサン=サーンスとの深い交友関係が知られている。イベールのフルート協奏曲は、モーツァルトの2曲の協奏曲に匹敵する名曲であるし、ビゼーの交響曲は若い時の作品であるが、ハイドン、モーツァルトのスタイルに忠実な古典的な作品である。このような観点に基づいたユニークなフランス音楽のプログラムをお楽しみいただければ幸いである。

モーツァルト室内管弦楽団／指揮：門 良一 *Mozart-Kammerorchester Japan / Ryoichi Kado, Dirigent*

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、45年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的プロ室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで、90年からは大阪いずみホールを本拠として年6回の定期演奏会を開催。また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に17回を数えている。海外では88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス(85、87年)、シブリアン・カツリス(93、94年)、ペーター・ダム(83、86、88、98、00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル(86年)、ライナー・キュッヒル(90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲等で活発に協演する他、93年には堺シテリオペラの協力による〈モーツァルト・オペラシリーズ〉を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。07～09年全10回にわたる〈没後200年記念ハイドン・シリーズ〉を、09～11年全18回にわたる〈創立40周年シリーズ〉を開催。また10年からは〈ベートーヴェン・シリーズ〉を、19年からは〈創立50周年シリーズ〉を開始している。2017年1月にNPO法人となる。

山田富士子●ピアノ *Fujiko Yamada, Piano*

幼少より井口基成、レオニード・コハンスキー、福井直俊の各氏に師事。東京藝術大学附属高校を経て、東京藝術大学に入学、後にフランス政府給費留学生として渡仏。パリ国立高等音楽院に入学、ピアノをヴラド・ペルルミュテル、マルセル・シアンピ、マルセル・ウークランの各氏に、室内楽をピエール・パスキエ、ジョゼフ・カルヴェの各氏に師事。マリア・カナルス国際ピアノコンクール入賞。日本国内をはじめ、フランス、イタリア、スペイン、カナダ、中国、マレーシア、タイ、フィリピン等でリサイタル、コンチェルト、室内楽等、積極的な演奏活動を展開し、ラジオやテレビでも放送される。また、日本音楽コンクール、学生音楽コンクール、スペイン・ハエン国際ピアノコンクール、ヴァレンシア・ホセ・イトウルビ国際ピアノコンクール等の審査員も務める他、イタリア、サンタ・キアラーラ夏期国際音楽アカデミー、プラハ・サマーアカデミーに講師として参加している。桐朋学園大学ピアノ特命教授。

山本ありさ●フルート *Arisa Yamamoto, Flute*

兵庫県立西宮高校音楽科を経て、相愛大学音楽学部卒業。同大学卒業演奏会、日本フルート協会新人演奏会、第2回ドルチェアーティストサロン新人演奏会に出演。J.フェランディス、T.クリスチャンセンのマスタークラス受講。2011年、2018年リサイタル開催。「シリクスフルートアンサンブル」のメンバーとして、今春2枚目となるCD《展覧会の絵》をリリースする他、大阪いずみホールでの定期演奏会や東京公演等で活躍している。持田洋氏に師事。

*当初出演予定の谷口美香に代わり、山本ありさがフルートソロを務めることになりました。どうぞご了承下さいませ。